

2015年12月17日 全6頁

Indicators Update

11月貿易統計

アジア・EU向け輸出数量が大きく回復

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2015年11月の貿易統計では、輸出金額は前年比▲3.3%と2ヶ月連続の減少となった。しかし季節調整値で見れば底打ち感が見られ始めており、必ずしも悪い結果ではない。輸出数量を地域別にみると、アジア向け、EU向けの増加が大きい。輸入金額は同▲10.2%と11ヶ月連続の減少となり、貿易収支は▲3,797億円と2ヶ月ぶりの赤字となった。
- 今月の結果は、海外需要が最悪期を脱したことを確認させる内容であった。米国では家計部門を中心に底堅い景気拡大が続いており、耐久財等の輸出は増加傾向が続くだろう。欧州向け輸出については、原油価格下落やECBによる量的緩和の効果などから持ち直しており、均してみれば回復基調が継続すると見込んでいる。アジア経済に関しては、中国の預金準備率引き下げや利下げなどによる实体经济の底上げが確認され始めており、消費財などを中心に一段の需要減少は回避される公算が大きい。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2015年									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
輸出金額	8.5	8.0	2.4	9.5	7.6	3.1	0.5	▲2.2	▲3.3	
コンセンサス									▲1.6	
DIR予想									▲1.3	
輸入金額	▲14.4	▲4.1	▲8.6	▲2.9	▲3.1	▲3.1	▲11.0	▲13.4	▲10.2	
輸出数量	3.2	1.8	▲3.8	0.0	▲0.7	▲4.1	▲3.9	▲4.6	▲3.1	
価格	5.1	6.0	6.4	9.5	8.4	7.5	4.6	2.5	▲0.3	
輸入数量	▲10.3	0.1	▲5.3	▲1.4	▲2.9	▲0.7	▲1.9	▲3.8	1.6	
価格	▲4.6	▲4.2	▲3.5	▲1.5	▲0.2	▲2.4	▲9.2	▲10.0	▲11.7	
貿易収支	2,227	▲593	▲2,206	▲744	▲2,705	▲5,715	▲1,200	1,083	▲3,797	

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

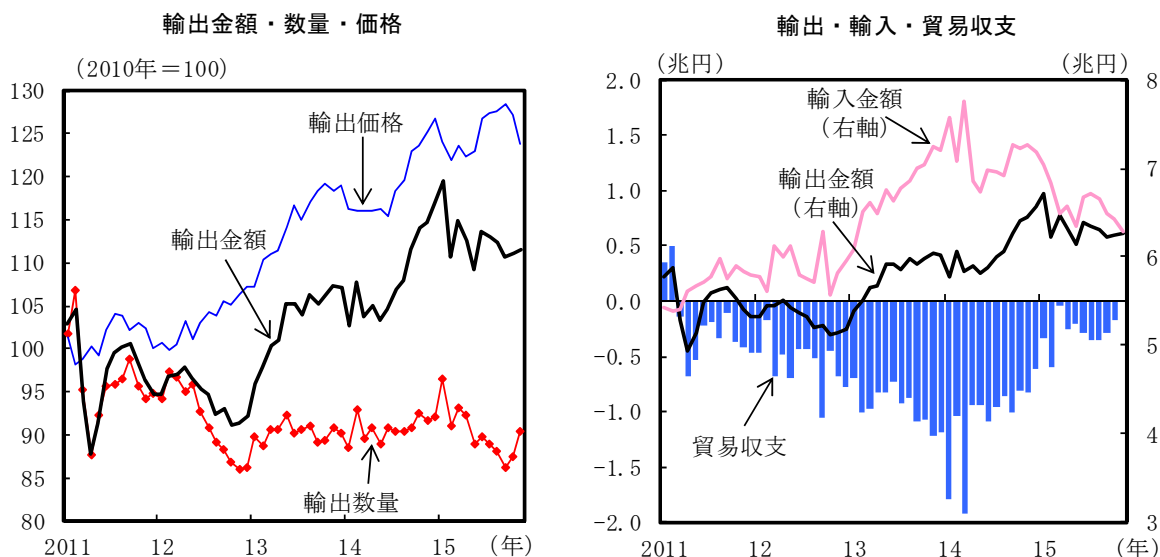
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出数量に底打ち感

2015年11月の貿易統計では、輸出金額は前年比▲3.3%と2ヶ月連続の減少となった。コンセンサス（同▲1.6%）対比で下振れする結果となったが、減少の主因は輸出価格の伸びの低下（同▲0.3%、10月は同+2.5%）である。他方、輸出数量は前年比マイナスながら下落幅は縮小（同▲3.1%、10月は同▲4.6%）している。季節調整値で見れば底打ち感が見られ始めており、必ずしも悪い結果ではない。

輸入金額は同▲10.2%と11ヶ月連続の減少となり、貿易収支は▲3,797億円と2ヶ月ぶりの赤字となった。輸入金額を価格要因と数量要因に分けてみると、輸入価格は原油価格の下落を主因として低下が続いており、前年比▲11.7%となった。輸入数量は同+1.6%と、7ヶ月ぶりの増加であった。季節調整値でみた輸入金額は前月比▲2.2%と4ヶ月連続の減少となっている。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。

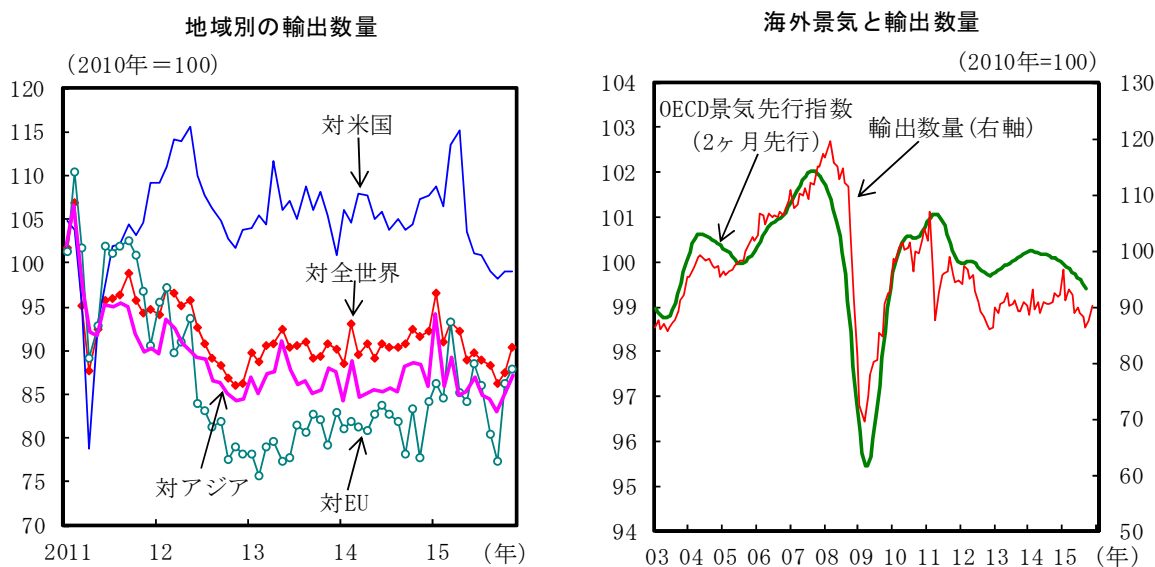
(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア・EU 向け輸出数量が回復

季節調整値でみた輸出金額は前月比+0.5%となった。輸出数量は同+3.2%となり（季節調整値は大和総研による）、2ヶ月連続の増加となっている。輸出数量を地域別にみると、アジア向け（同+2.2%）、EU向け（同+1.9%）の増加が大きい。アジア向け輸出は今年の初頭から資本財・素材を中心に減少傾向が続いてきた。この背景にグローバルマネーフローの動揺と、それを受けた新興国の景気減速が大きく作用していた。しかしこうした悪材料はいったん後退し、中国の金融緩和等を背景に消費財需要を中心とした輸出の回復がみられ始めている。EU向け輸出は昨年末～今年初めに大きく増加した後、9月までは減少傾向が続いてきた。しかし足下では自動車や関連製品とみられる自動車部品・鉄鋼などの輸出が大幅な伸びを示しており、欧州における消費市場が再び動意づいてきた可能性がある。

今月の結果は、海外需要が最悪期を脱したことを確認させる内容であった。もちろん、足下での輸出の回復はあくまでもリバウンドの範囲内であり、継続的かつ本格的に輸出が拡大していくまでには相応の時間を要するだろう。とりわけ原油価格下落やドル高が企業部門の重石となっている米国と、過剰設備の調整が必要なアジア向けの資本財や素材の輸出の不調が当面続く可能性が高い。ただし先行きの輸出は、強弱入り混じりながらも緩やかな回復を続けるだろう。米国では家計部門を中心に底堅い景気拡大が続いており、耐久財等の輸出は増加傾向が続くだろう。欧州向け輸出については、原油価格下落やECBによる量的緩和の効果などから持ち直しており、均してみれば回復基調が継続すると見込んでいる。アジア経済に関しては、中国の預金準備率引き下げや利下げなどによる実体経済の底上げが確認され始めており、消費財などを中心に一段の需要減少は回避される公算が大きい。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



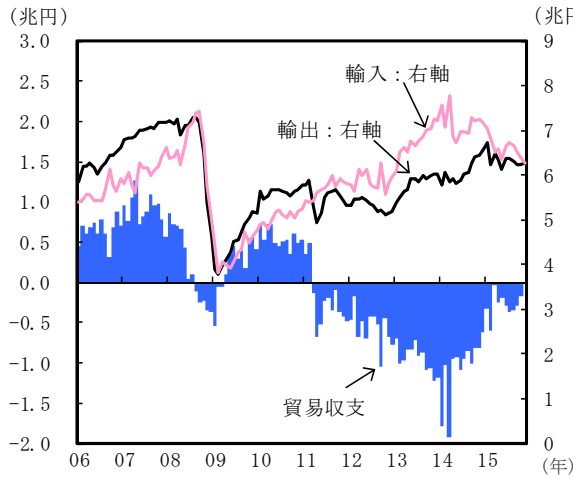
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

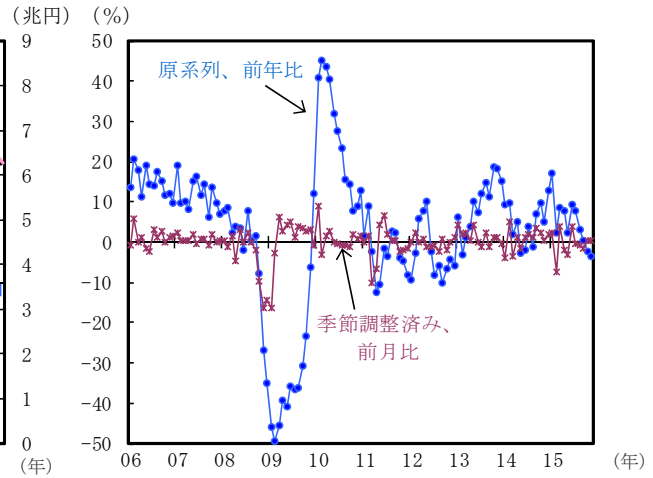
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

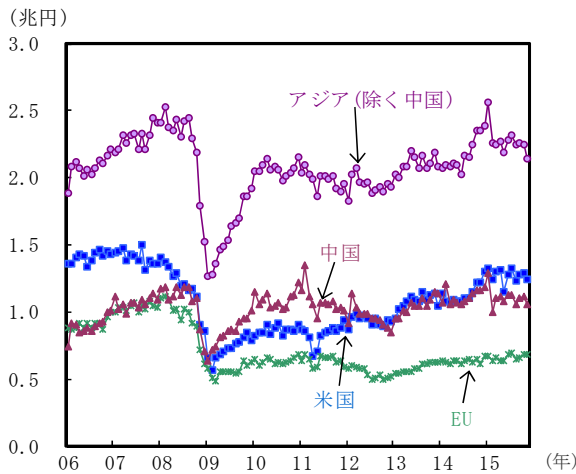


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

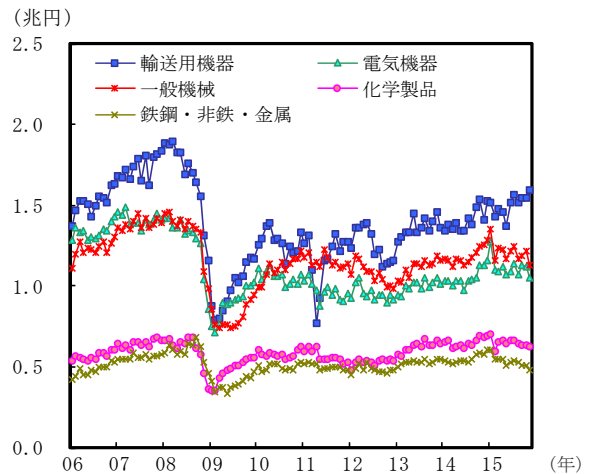


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

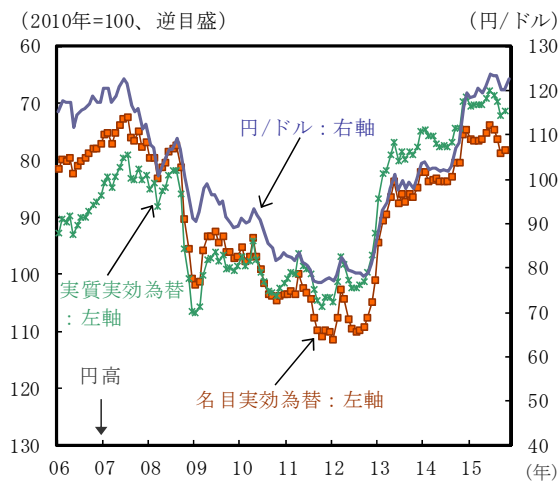


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

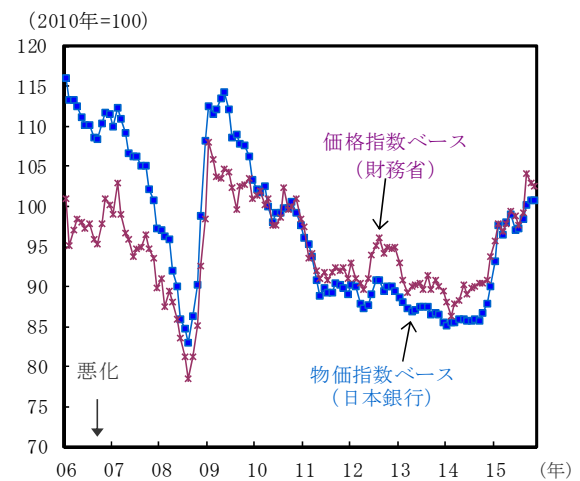


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09	2015/10	2015/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.5	7.6	3.1	0.5	▲2.2	▲3.3	100.0	▲3.3
食料品	22.9	26.1	18.1	27.4	18.4	14.0	0.9	0.1
原料品	2.3	▲12.2	▲5.0	▲9.8	▲5.3	▲17.6	1.3	▲0.3
鉱物性燃料	▲5.6	▲7.8	0.1	▲21.2	▲25.6	▲31.8	1.4	▲0.6
化学製品	8.4	2.3	0.2	▲4.3	▲7.7	▲7.9	9.9	▲0.8
原料別製品	▲0.6	2.6	▲3.1	▲8.2	▲9.2	▲12.4	11.3	▲1.5
鉄鋼	▲8.0	0.0	▲8.2	▲17.0	▲17.3	▲18.4	4.3	▲0.9
非鉄金属	3.8	5.0	1.8	▲6.7	▲12.2	▲17.6	1.6	▲0.3
金属製品	5.3	2.6	2.9	0.7	0.3	▲4.5	1.6	▲0.1
一般機械	7.2	8.3	▲0.5	▲1.9	▲2.2	▲9.8	18.1	▲1.9
電気機器	11.3	10.5	2.4	6.9	▲0.4	▲6.3	17.2	▲1.1
半導体等電子部品	14.9	9.0	3.9	8.5	0.8	▲11.1	4.9	▲0.6
I C	16.8	10.4	4.8	10.5	0.1	▲11.5	3.3	▲0.4
映像記録・再生機器	18.6	27.3	▲27.6	▲15.6	▲16.9	▲26.8	0.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	11.4	24.9	7.2	13.2	1.4	2.8	0.5	0.0
電気回路等の機器	5.8	5.0	▲2.6	▲3.7	▲8.9	▲9.8	2.4	▲0.2
輸送用機器	12.3	10.4	9.5	3.7	0.7	13.5	26.5	3.0
自動車	17.0	9.6	11.1	7.6	10.4	19.0	18.8	2.9
自動車の部分品	2.4	3.4	▲2.0	▲1.3	▲4.4	▲1.3	4.6	▲0.1
その他	20.5	11.5	9.0	5.9	4.5	▲1.5	13.4	▲0.2
科学光学機器	▲0.0	▲1.8	▲7.4	▲4.9	▲5.5	▲12.3	3.2	▲0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09	2015/10	2015/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	17.6	18.8	11.1	10.4	6.3	2.0	100.0	2.0
食料品	24.7	▲1.4	4.6	13.5	7.1	1.2	0.5	0.0
原料品	19.6	▲49.3	26.9	33.6	45.7	▲25.6	0.5	▲0.2
鉱物性燃料	18.9	93.4	▲39.8	▲9.6	855.3	▲58.8	0.2	▲0.3
化学製品	26.0	37.7	19.7	17.6	8.4	11.2	5.8	0.6
原料別製品	9.8	8.1	3.7	▲4.6	0.9	▲12.5	6.5	▲0.9
鉄鋼	▲5.2	▲6.0	▲6.0	▲24.4	▲0.8	▲25.6	1.7	▲0.6
非鉄金属	16.8	6.9	▲14.1	▲12.8	▲17.2	▲32.4	0.4	▲0.2
金属製品	0.1	14.5	8.5	11.2	7.0	▲4.4	1.5	▲0.1
一般機械	15.9	8.2	5.8	▲4.9	▲1.4	▲12.1	20.5	▲2.9
電気機器	13.9	18.5	7.3	15.5	0.2	▲4.4	13.4	▲0.6
半導体等電子部品	18.2	17.2	4.8	20.6	7.7	▲4.7	1.8	▲0.1
I C	5.1	3.6	▲11.7	6.3	▲6.1	▲8.4	0.9	▲0.1
映像記録・再生機器	68.4	69.2	▲4.3	15.1	7.6	5.9	0.8	0.0
音響・映像機器の部分品	16.5	49.5	▲8.3	22.3	▲2.4	17.7	0.2	0.0
電気回路等の機器	10.0	12.7	0.7	6.6	▲10.1	▲10.8	1.4	▲0.2
輸送用機器	19.4	25.1	14.5	18.5	9.4	16.6	42.9	6.2
自動車	24.5	33.1	21.4	25.6	16.0	24.9	33.4	6.8
自動車の部分品	1.5	3.6	▲7.2	▲5.4	▲5.4	▲6.1	5.4	▲0.4
その他	20.6	23.8	20.0	15.1	17.6	1.5	9.7	0.1
科学光学機器	1.4	8.4	8.5	7.2	17.0	▲1.4	2.2	▲0.0

EU向け輸出金額 内訳								
	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09	2015/10	2015/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.8	10.0	▲0.2	5.1	5.4	9.5	100.0	9.5
食料品	31.2	58.8	19.1	26.8	45.9	37.5	0.4	0.1
原料品	0.2	1.6	▲0.1	7.7	37.3	4.9	0.8	0.0
鉱物性燃料	177.2	▲45.6	▲27.7	▲8.7	▲9.7	▲59.3	0.1	▲0.1
化学製品	8.6	7.3	0.9	2.8	6.5	1.7	8.1	0.1
原料別製品	5.4	22.1	▲4.5	15.5	9.3	19.8	7.3	1.3
鉄鋼	20.7	117.1	▲23.5	83.6	63.8	87.4	1.7	0.9
非鉄金属	53.0	29.7	14.3	4.7	▲0.6	10.3	0.7	0.1
金属製品	4.2	8.0	▲11.4	▲1.6	▲5.7	18.2	1.5	0.3
一般機械	▲5.8	5.5	▲7.5	0.2	▲0.7	▲1.1	24.2	▲0.3
電気機器	4.3	7.8	▲1.5	▲2.6	0.5	1.1	18.5	0.2
半導体等電子部品	▲4.6	▲13.8	▲3.1	▲5.4	▲7.9	▲10.6	2.5	▲0.3
I C	▲16.1	▲17.8	▲12.4	▲9.7	▲9.0	▲16.1	1.4	▲0.3
映像記録・再生機器	22.9	9.0	▲6.1	▲31.2	▲31.0	▲6.4	1.1	▲0.1
音響・映像機器の部分品	26.0	16.0	▲8.1	▲27.6	17.7	▲21.0	0.4	▲0.1
電気回路等の機器	▲2.3	7.3	▲0.1	▲1.4	▲3.3	2.1	1.8	0.0
輸送用機器	33.8	22.9	7.3	19.4	27.2	35.7	26.7	7.7
自動車	17.1	13.6	▲3.0	10.6	32.3	45.5	18.6	6.4
自動車の部分品	27.0	22.7	36.6	16.4	19.7	25.2	5.1	1.1
その他	21.3	▲2.7	7.1	▲2.6	▲11.2	2.4	13.9	0.4
科学光学機器	12.3	14.5	5.5	▲12.1	▲5.6	▲9.4	3.4	▲0.4

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09	2015/10	2015/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.1	6.1	1.1	▲0.9	▲3.6	▲8.7	100.0	▲8.7
食料品	20.9	31.0	19.0	33.9	21.8	17.6	1.2	0.2
原料品	1.6	▲9.1	▲10.3	▲15.6	▲11.8	▲19.2	2.0	▲0.4
鉱物性燃料	0.6	▲15.2	▲19.5	▲39.1	▲40.9	▲26.4	2.0	▲0.7
化学製品	8.3	▲0.5	▲0.0	▲7.1	▲8.1	▲11.1	14.0	▲1.6
原料別製品	▲0.2	1.9	▲4.2	▲11.0	▲10.0	▲15.8	14.2	▲2.4
鉄鋼	▲7.2	▲2.6	▲9.7	▲18.8	▲17.9	▲22.9	5.6	▲1.5
非鉄金属	6.7	10.1	5.3	▲8.7	▲12.8	▲18.5	2.6	▲0.5
金属製品	6.3	3.8	▲0.5	▲3.1	▲0.9	▲8.1	1.7	▲0.1
一般機械	10.8	12.7	0.4	0.4	▲0.4	▲8.4	17.9	▲1.5
電気機器	13.1	10.8	2.4	7.2	0.9	▲8.5	21.9	▲1.8
半導体等電子部品	16.6	10.9	4.4	8.5	0.7	▲11.8	8.1	▲1.0
I C	20.0	13.1	6.8	11.9	1.0	▲11.6	5.7	▲0.7
映像記録・再生機器	▲2.2	21.6	▲49.4	▲24.8	▲23.0	▲45.1	0.5	▲0.3
音響・映像機器の部分品	21.0	17.6	10.8	14.3	▲0.9	▲6.8	0.6	▲0.0
電気回路等の機器	5.2	2.5	▲4.7	▲6.2	▲8.2	▲11.7	3.3	▲0.4
輸送用機器	11.6	▲0.9	9.0	8.7	▲2.4	0.8	9.7	0.1
自動車	10.6	2.2	18.5	7.9	11.0	8.3	5.1	0.4
自動車の部分品	▲2.3	▲0.1	▲8.2	▲3.2	▲3.8	▲2.6	3.9	▲0.1
その他	20.0	12.5	6.6	5.3	3.3	▲2.7	17.0	▲0.4
科学光学機器	▲0.4	▲4.4	▲10.6	▲5.0	▲8.5	▲13.6	4.3	▲0.6

中国向け輸出金額 内訳								
	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09	2015/10	2015/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.9	4.2	▲4.6	▲3.5	▲3.6	▲8.1	100.0	▲8.1
食料品	37.8	17.9	24.7	81.4	17.8	19.7	0.5	0.1
原料品	14.1	▲15.4	▲10.5	▲14.7	▲11.4	▲20.0	2.9	▲0.7
鉱物性燃料	▲42.3	41.8	▲46.5	▲76.8	7.3	▲41.5	0.6	▲0.4
化学製品	7.0	▲1.4	0.9	▲2.9	▲8.4	▲15.1	14.5	▲2.4
原料別製品	3.3	2.4	▲5.6	▲13.4	▲9.6	▲12.8	11.8	▲1.6
鉄鋼	▲1.4	▲6.3	▲14.8	▲19.7	▲15.3	▲11.1	3.7	▲0.4
非鉄金属	9.9	17.7	6.6	▲13.4	▲19.7	▲25.2	2.2	▲0.7
金属製品	7.1	▲1.1	▲5.3	▲7.7	▲2.8	▲10.9	1.7	▲0.2
一般機械	7.4	11.8	▲0.7	▲2.2	▲1.8	▲8.2	18.2	▲1.5
電気機器	10.5	9.3	▲6.5	8.5	▲1.2	▲7.6	24.1	▲1.8
半導体等電子部品	14.2	▲1.5	▲12.6	4.2	▲6.8	▲12.1	7.7	▲1.0
I C	25.3	1.8	▲10.5	13.0	▲4.5	▲7.1	5.7	▲0.4
映像記録・再生機器	17.4	58.1	▲76.7	2.4	▲17.2	▲56.4	0.5	▲0.6
音響・映像機器の部分品	▲19.5	19.5	16.2	21.8	4.4	▲4.6	0.9	▲0.0
電気回路等の機器	0.3	0.5	▲10.4	▲11.8	▲20.2	▲21.8	3.2	▲0.8
輸送用機器	▲11.7	▲13.5	▲13.7	▲12.5	▲7.6	▲4.7	10.8	▲0.5
自動車	▲15.8	▲15.9	▲5.0	▲5.1	2.1	▲3.2	5.2	▲0.2
自動車の部分品	▲10.7	▲13.9	▲21.2	▲19.6	▲14.4	▲4.4	5.4	▲0.2
その他	15.1	10.9	▲1.1	2.4	3.9	4.4	16.6	0.6
科学光学機器	6.8	▲4.9	▲9.5	▲2.0	▲3.9	▲9.3	7.2	▲0.7

(出所) 財務省統計より大和総研作成